平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　ケイヒン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9312　URL　http://www.keihin.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大津　育敬
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長　(氏名) 漆畑　光一　TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,776	1.6	1,030	43.0	780	76.7	590	670.6
23年3月期第3四半期	30,305	10.3	720	△2.5	441	4.4	76	△70.4

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　241百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△112百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	9.04	―
23年3月期第3四半期	1.17	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	43,958	12,418	28.3
23年3月期	42,944	12,242	28.5

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　12,418百万円　23年3月期　12,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	1.00	1.00
24年3月期	―	―	―		
24年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.2	1,100	24.0	750	39.0	500	―	7.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	65,364,457 株	23年3月期	65,364,457 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	58,315 株	23年3月期	56,790 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	65,307,248 株	23年3月期3Q	65,311,054 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.3「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
（３）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
（４）セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成２３年４月１日から平成２３年１２月３１日まで）のわが国経済は、東日本大震災の影響により減少した生産や輸出は一時持ち直しの動きがみられましたが、円高や海外景気の減速等により回復の動きは弱まりました。

物流業界におきましては、輸入貨物は増加したものの、生産の減少等に伴い、輸出貨物および国内貨物の荷動きは減少しました。

このような環境の中、当社グループにおいては、輸出貨物の取扱いは減少したものの、積極的な営業活動の推進による新規貨物の獲得、震災に伴う緊急貨物の取扱い等により、輸入貨物や国内貨物の取扱いが増加しました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は３０７億７千６百万円（前年同期比４億７千１百万円の増収、１．６％増）となり、営業利益は売上の増加等により１０億３千万円（前年同期比３億９百万円の増益、４３．０％増）、経常利益は７億８千万円（前年同期比３億３千８百万円の増益、７６．７％増）となりました。また、前年同期に特別損失として計上した投資有価証券評価損が大幅に減少したこともあり、四半期純利益は５億９千万円（前年同期比５億１千３百万円の増益、６７０．６％増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第３四半期連結累計期間（百万円）	当第３四半期連結累計期間（百万円）	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	19,107	19,763	656	3.4
国際物流事業	11,992	11,720	△272	△2.3
セグメント間内部売上高	△794	△707	87	－
合　計	30,305	30,776	471	1.6

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、新規貨物の獲得や震災に伴う緊急貨物の取扱い等により、売上高は４２億４千７百万円（前年同期比２．１％増）となりました。

また、流通加工業は、通信販売商品等の取扱いが増加し、売上高は４１億７千３百万円（前年同期比６．８％増）となり、陸上運送業は、通信販売商品等の配送取扱件数が増加したほか、一般貨物輸送における新規貨物取扱いもあり、売上高は１０８億７千７百円（前年同期比２．８％増）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は１９７億６千３百万円（前年同期比６億５千６百万円の増収、３．４％増）、営業利益は１５億２千２百万円（前年同期比２億６千４百万円の増益、２１．０％増）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、港湾作業は、船内・沿岸荷役、港湾荷役ともに貨物取扱いが増加し、売上高は１５億６千９百万円（前年同期比１１．４％増）となりました。

一方、国際運送取扱業は、輸入貨物の取扱い増により複合一貫輸送・海運貨物とも貨物取扱いが増加しましたが、輸出車両の海上輸送の取扱いやプロジェクト貨物の取扱いが減少し、売上高は９１億９千８百万円（前年同期比４．２％減）となりました。また、航空運送取扱業は、輸入貨物の取扱いは増加したものの、輸出貨物の取扱いが減少し、売上高は９億５千２百万円（前年同期比３．２％減）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は１１７億２千万円（前年同期比２億７千２百万円の減収、２．３％減）となりましたが、営業利益は、コストの削減等を推進したことにより、４億８千５百万円（前年同期比４千５百万円の増益、１０．３％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、減価償却に伴う有形固定資産の減少や株式相場低下による時価下落により投資有価証券が減少したこと等がありましたが、受取手形及び営業未収金の増加等により、前連結会計年度末比１０億１千３百万円増の４３９億５千８百万円となりました。

負債合計は、営業未払金の増加等により、前連結会計年度末比８億３千７百万円増の３１５億３千９百万円となりました。

また、純資産合計は、その他の包括利益累計額が減少しましたが、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比１億７千６百万円増の１２４億１千８百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成２４年３月期の連結業績予想につきましては、円高や海外景気の減速懸念等から、平成２３年５月１３日の公表値を据え置いておりましたが、当第３四半期累計期間の業績および最近の予測等を踏まえ、平成２４年２月９日に公表いたしました「平成２４年３月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、通期の業績予想数値を上方修正するとともに、期末配当予想を１円増配の１株当たり２円に修正しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627	1,436
受取手形及び営業未収金	4,807	6,334
貯蔵品	6	8
繰延税金資産	106	94
その他	764	1,130
貸倒引当金	△15	△51
流動資産合計	7,298	8,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,738	42,278
減価償却累計額	△24,040	△24,958
建物及び構築物（純額）	17,698	17,320
機械装置及び運搬具	2,249	2,270
減価償却累計額	△1,768	△1,808
機械装置及び運搬具（純額）	481	462
工具、器具及び備品	3,111	3,276
減価償却累計額	△2,765	△2,881
工具、器具及び備品（純額）	346	395
土地	10,884	10,884
リース資産	362	384
減価償却累計額	△120	△169
リース資産（純額）	242	214
建設仮勘定	―	80
有形固定資産合計	29,652	29,357
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	407	403
無形固定資産合計	1,384	1,380
投資その他の資産		
投資有価証券	3,803	3,411
繰延税金資産	228	243
その他	542	586
投資その他の資産合計	4,574	4,241
固定資産合計	35,612	34,979
繰延資産		
社債発行費	34	24
繰延資産合計	34	24
資産合計	42,944	43,958

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,324	3,999
短期借入金	8,860	8,680
1年内償還予定の社債	－	2,000
リース債務	64	71
未払法人税等	97	76
繰延税金負債	3	4
その他	1,228	1,407
流動負債合計	13,579	16,239
固定負債		
社債	3,000	1,000
長期借入金	10,441	10,689
長期未払金	111	89
リース債務	196	161
繰延税金負債	11	6
退職給付引当金	2,104	2,057
役員退職慰労引当金	868	911
その他	389	384
固定負債合計	17,122	15,299
負債合計	30,702	31,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	2,721	3,246
自己株式	△11	△11
株主資本合計	12,501	13,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152	△142
為替換算調整勘定	△412	△465
その他の包括利益累計額合計	△259	△607
純資産合計	12,242	12,418
負債純資産合計	42,944	43,958

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	30,305	30,776
売上原価	28,349	28,486
売上総利益	1,956	2,290
一般管理費	1,235	1,260
営業利益	720	1,030
営業外収益		
受取利息及び配当金	96	75
その他	43	36
営業外収益合計	140	111
営業外費用		
支払利息	346	316
その他	72	45
営業外費用合計	419	361
経常利益	441	780
特別利益		
固定資産売却益	2	0
過年度固定資産税還付額	30	－
その他	2	0
特別利益合計	35	1
特別損失		
投資有価証券評価損	179	49
事故負担金	－	15
固定資産処分損	－	12
代引業務整理損	119	－
訴訟和解金	23	－
特別損失合計	322	76
税金等調整前四半期純利益	154	705
法人税、住民税及び事業税	118	85
法人税等調整額	△40	29
法人税等合計	77	114
少数株主損益調整前四半期純利益	76	590
少数株主利益	－	－
四半期純利益	76	590

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	76	590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	△295
為替換算調整勘定	△51	△53
その他の包括利益合計	△189	△348
四半期包括利益	△112	241
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112	241
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成２２年４月１日　至　平成２２年１２月３１日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,459	11,846	30,305	―	30,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	648	146	794	△794	―
計	19,107	11,992	31,100	△794	30,305
セグメント利益	1,257	440	1,698	△977	720

(注)１　セグメント利益の調整額△977百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△977百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成２３年４月１日　至　平成２３年１２月３１日)

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,174	11,602	30,776	―	30,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	589	117	707	△707	―
計	19,763	11,720	31,484	△707	30,776
セグメント利益	1,522	485	2,008	△977	1,030

(注)１　セグメント利益の調整額△977百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△977百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
(注)２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。